### 尼崎市経済環境局環境部 産業廃棄物対策担当 御中



## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記1の書類について、別添のとおり提出します。

記

1 提出書類 <該当を選択>	□ 産業廃棄物処理計画書( PDF ・ 書類 1 部 ) □ 産業廃棄物処理計画実施状況報告書( PDF ・ 書類 部 ) □ 特別管理産業廃棄物処理計画書( PDF ・ 書類 部 ) □ 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書( PDF ・ 書類 部 )
	(住所) 〒 541·0053 − 大阪市中央区本町4丁目1番13号
2 提出者	(名称・代表者氏名) 株式会社 竹中工務店大阪本店 執行役員本店長 弦田 康平
	(所在地) 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番13号
3 対象事業場	(名称) 株式会社 竹中工務店大阪本店
	(事業場コード(6 桁)) 909332
	(業種コード(4 桁)) 0641
	(業種名) 建築工事業
4 事業場データ (報告データ)	(フレーム:完成工事高) 323,927 百万円 万円
(報音ケータ)	(廃棄物発生場所地域名) <該当地域に○印をしてください。>※ 11 神戸市、12 尼崎市、13 姫路市、14 西宮市、 21 阪神南、22 阪神北、23 東播磨、24 北播磨、25 中播磨、26 西播磨、 27 但馬、28 丹波、29 淡路
	※ 地域は政令市・県民局単位。複数地域にまたがる場合、第2面は地域ごとに作成ください。
	(所属) 安全環境部 環境グループ
	(氏名) 中出 哲夫
5 ご担当者	(電話) 06-6263-5792 (FAX) 06-6263-5770
	(E-mail) nakade.tetsuo@takenaka.co.jp

本用紙は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 11 項及び第 12 条の 2 第 12 項で定める公表対象の様式ではありませんので、同法により公表することはありません。

ただし、別添の様式はすべて公表されますので、別添の様式中に個人情報等を記載しないようご注意ください。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

尼崎市長 殿



令和5年6月26日

提出者

住所 大阪市中央区本町4丁目1番13号 氏名 株式会社 竹中工務店大阪本店 執行役員本店長 弦田 康平 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6252-1201

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 竹中工務店大阪本店
事業場の所在地	大阪市中央区本町4丁目1番13号
計 画 期 間	令和5年4月1日~令和6年3月31日
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
①事業の種類	06 総合工事業
②事 業 の 規 模	323,927百万円
③従 業 員 数	2,063 人
	別添1 処理工程図のとおり
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事項								
(管理体制図) 別添2 管理体制図	のとおり								
生来先来初沙州山沙州市		大阪市中央区本町4丁目							
	産業廃棄物の種類	株式会社 竹中工務店大阪本店	_						
	排 出 量	執行役員本店長 弦Ft	t						
①現状	(これまでに実施した取	I 双組)							
	・工法の改善  ・梱包材の簡素化  ・ユニット化搬入  ・実寸発注の実施  ・資材の再利用								
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	<u> </u>						
	排 出 量	t	t						
②計画	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記を検討 ・個別工事における工法の改善による産業廃棄物の削減								
産業廃棄物の分別に関す	る事項								
①現状	がれき類(コンクリー) ラスチック類、塩ビ、オ 燃物(紙くず, 繊維くず	を物の種類及び分別に関す 、塊,アスファルト塊,ガラスくず、金属くず、金属くず、石膏な )は分別すると共に、石 混入しないように確実に分	ラス陶磁器くず)、廃プ ドード、ALC、混合可 綿含有産業廃棄物につ						
	(今後分別する予定の産 現状の取り組みを維持、	業廃棄物の種類及び分別 推進していく。	に関する取組)						
②計画									

っ行う産業廃棄	物の再生利用に関する事項	-
	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 - t	
①現状	(これまでに実施した取組) 実施していない	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類 大阪市中央区本町4丁目1番13号 -	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 が中工務店大阪本店 t	
②計画	(今後実施する予定の耳執行役員本店長 弦田 康平	
	建設汚泥やがれきの自ら利用について検討をしていきたい。	
S 12 2 1		
っ行う産業廃棄	物の中間処理に関する事項 	
	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った	
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 - t	CF .
	(これまでに実施した取組)	
	実施していない	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う	
	産業廃棄物の量       t         自ら中間処理により減量する       - t         産業廃棄物の量       - t	_
②計画	(今後実施する予定の取組)	
	建設汚泥やがれきの自ら利用について検討をしていきたい。	

自ら行う産	業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	分に関する事項	
	ľ	前年度(令和4年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類		<u> </u>
() TH. (1)	7	自ら埋立処分又は 毎洋投入処分を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	t
①現状 		これまでに実施した耳 施していない	文組)	
	[	 目標】		
		産業廃棄物の種類	大阪市中央区本町4丁目1番13号	-
	P.	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	竹中工務店大阪本店 t	t
②計画		今後実施する予定の取 施予定なし	執行役員本店長 弦田 扇	<b>長平</b>
産業廃棄物	の処理の委託に	関する事項	· ·	
		前年度(令和4年度)		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
10-5640		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	
	· る	これまでに実施した耳 委託基準に従って、 契約を実施している。 再資源化率の高い事業	産業廃棄物を委託できる	業者を選定し、書面によ

	F - I - I		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t
	・当社登録業者(建設副・部会からの選定ができ 定する。 ・原則として電子マニフ ・再生利用、熱回収が可 回収業者へ処理委託する	大阪市中央区本町4丁目  産物部会)からの選定を ない場合、可能な限り優 /エスト対応可能な処理業 「能である廃棄物について 。 定期的に現地確認を実施	基本とする。 長認定処理業者から認 者を選定する。 な、再生利用業者、熱
※事務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別添1 処理工程図

いずれも処理会社に処理委託し、主に以下工程で処理する。
・汚泥→脱水・固化等により再資源化、または埋立
・廃油→油水分離・エマルジョン処理等により再資源化
・廃プラ→R P F 化により再資源化、または焼却により熱回収
・紙くず→焼却により熱回収
  ・木くず→破砕により再資源化または、焼却により熱回収
・金属くず→破砕等により再資源化
・ガラス陶磁器くず→破砕等により再資源化または埋立
- ・がれき類→破砕等により再資源化
  ・混合廃棄物→選別、破砕等により再資源化及び埋立
加山虎来物・返が、戦時寺により行兵脈山火ひを立

## 別添2 管理体制図

本社生産本部				
↓ 大阪本店安全環境部(安全	<b></b>			
↓ 大阪本店安全環境部(環均	竟グル―プリ―ダー)			
↓ 工事現場管理責任者(産業	<b>業廃棄物管理責任者、特別管理</b>	里 <b>産業廃棄物管理</b> 責任者	<b>f</b> )	
				<i>2</i>
				**
	•			

現状:前年度(令和4年度)実績量

計画:今年度(令和5年度)計画量(目標)

単位:トン

	計画:今年	度(令和5年	F度)計画重	重(日悰)						単位:トン										
	排出抑制 排出量		自ら再生利用を 行った(行う)量		自ら行う中間処理			4×1114	.n /\ → ). t	処理の委託										
産業廃棄物の種類					自ら熱回収を 行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	940.00	752.00	_	_		-	_	<del>-</del>	_	7 <del>-</del>	940.00	752.00	940.00	752.00	940.00	752.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	9.45	7.56	_	-	_	· · ·	/ <del>-</del>	_	_	_	9.45	7.28	9.10	7.28	0.35	0.28	9.10	7.28	0.00	0.00
紙くず	0.45	0.36	_		-		_	_	_	,: <u>-:</u>	0.45	0.36	0.45	0.36	0.00	0.00	0.45	0.36	0.00	0.00
木くず	38.50	30.80		· · · · · · · ·	_	-	- I		-	_	38.50	30.80	38.50	30.80	0.00	0.00	38.50	30.80	0.00	0.00
ガラス陶磁器等くず	1.50	1.20		-	_		_	-	-	_	1.50	1.20	1.50	1.20	0.00	0.00	1.50	1.20	0.00	0.00
廃石膏ボード	11.85	9.48	_	-	_	_	, –	<u>-</u>	-	_	11.85	9.48	8.55	6.84	8.70	6.96	3.15	2.52	0.00	0.00
コンクリート片	85.84	68.67	_		_		_		-	71. <u>-</u>	85.84	68.67	85.84	68.67	0.00	0.00	85.84	68.67	0.00	0.00
アス・コン片	7.40	5.92	_	-	_	<del>-</del>	_	-	-	7.0-	7.40	5.92	7.40	5.92	0.00	0.00	7.40	5.92	0.00	0.00
その他がれき類	125.80	100.64	_	-		-	_	<u> </u>	-	<del>-</del>	125.80	100.64	125.80	100.64	0.00	0.00	125.80	100.64	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	47.06	37.65		_	_	-	_	_	-	<u> </u>	47.06	37.65	46.28	37.02	0.78	0.62	46.28	37.02	0.00	0.00
石綿含有産業廃棄物	5.92	4.74	-			_	-		-	-	5.92	4.74	5.92	4.74	0.00	0.00	5.92	4.74	0.00	0.00
水銀使用製品	0.08	0.06	***		_	-	. 1. 17 <del></del>		-	-	0.08	0.06	0.08	0.06	0.08	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
		. 1.13																		
													,							
			95	v /																
	1.71		· , »								- 149		1 1 1							
					d'							St.								
		1.15.	,																	
			***************************************																	
				30 0 0 0 0																
				. 18											1.70					
							4			11.7.1			1000	117.				· inf:		
										1.3										
		1, 34, 6,						1					. h						1, 11	
							1 V						1.13				1 1 1			
			,	24197 T			1 2 1													
					-															
<b>△</b> ₹L	1,273.85	1,019.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1 273 95	1,018.80	1,269.42	1,015.53	949.91	759.92	323.94	259.15	0.00	0.00
合計	1,2/3.85	1,019.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	0.00	1,275.05	1,010.00	1,203.42	1,010.00	343.31	135.52	323.34	239.13	0.00	0.00